

インタビューの  
記録から

「学校での教育活動の効果を上げるには、保護者や地域の方の支えが大切です。協力を得るためには、何よりもまず私自身が“動く”ことが必要だと感じています。」

「保護者・地域・学校の三者が協力して実現できたことが増えると、より一層信頼関係が深まって、協力体制が充実します。」

私も自分から保護者や地域の方とかわつて良い関係をつくりたいわ!

職員に促したい気付き



## 保護者や地域の方との良い関係をつくりたい

そこで

フットワークよく自ら地域へ出向いて人との出会いや会話を増すことで、保護者・地域・学校の一体感を高め、子どもたちを共に育てる協力関係を築きましょう。

たとえば

時間を作って自転車で地域を巡っています。挨拶を交わし話をすることで、子どもたちの様子や学校への要望を聞いたり学校の願いを伝えたりして、子どもたちの成長への思いの共有を図っています。

思いや願いを語る

子どもたちの安全を守るためのパトロールをPTAに依頼する時には、教頭としての思いや願いを誠心誠意語り掛ける。



- ・理想としている姿が伝わる
- ・学校の熱意が伝わる
- ・PTA活動に対する保護者の気持ちをより前向きにできる

協力依頼は直接渡す

持久走大会に伴う交通指導員さんへの協力依頼、文化祭に伴う自治会長さんへの出席依頼などは、可能な限り出向いて直接依頼する。



- ・顔を覚えてもらえる
- ・親近感がわく
- ・とても喜んでもらえる
- ・地域の風や香りを感じることができる

ノウハウを伝える

保護者や地域の中に協力的な活動が動き出しそうな時には、計画づくりや各方面への連絡調整などにかかわるノウハウを積極的に関係者に伝える。



- ・一体感が増す
- ・保護者や地域の方の考え方が分かる
- ・学校としての協力の仕方や程度分かる

